

## 特別の教科 道徳

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新訂 新しい道徳
17	教	出	中学道徳 とびだそう未来へ
38	光	村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき
116	日	文	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート
224	学	研	新・中学生の道徳 明日への扉
232	廣あかつき		中学生の道徳 中学生の道徳ノート
233	日	科	道徳 中学

### 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	道徳科の学び方等の示し方	オリエンテーションのタイトル、示し方、記載例
		②	発問の工夫	記載箇所、数、記載例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習の扱い、教材名等・内容項目・問題意識のたせ方、発問の具体例
		④	体験的な学習を取り入れた工夫	体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	分量や教材の数	判型、ページ数、4つの視点ごとの教材数
		⑥	現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	いじめの問題の扱いと教材等の例
(エ)	内容の表現・表記	⑦	巻頭等、巻末等の取扱いの工夫	巻頭等、巻末等の示し方
		⑧	教材の内容を理解させる工夫	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨	考えを伝え合う活動の工夫	話し合いを促す示し方と具体例
		⑩	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、まとめや振り返りの数等と具体例

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	①道徳科の学び方等の示し方
<b>方法</b>	オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例

		第1学年		
		オリエンテーションの タイトル	示し方	記載例
東 書		○ 「道徳の授業はこんな時間に」	○ 巻頭折り込み3ページにわたって、ショートストーリーを基に学習の流れを解説し、自分の考えを書く欄を4箇所と振り返りの欄を1箇所設けている。	○ 「拓哉のなやみ」を読んで、考えてみよう
		○ 「話し合いの手引き」	○ 巻頭折り込み1ページを使って、話し合いの手引きを示している。	○ 「話し合いの手引き」 ・このページは、話し合いのときに参考にしましょう。
		○ 「1年間で学ぶこと」	○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目と教材名を示し、中学生になってやってみたいことを書く欄を1箇所設けている。	○ 「自分自身に関すること」 ・自ら考え、責任をもつ ・安全で健康な生活
教 出		○ 「道徳科で学びを深めるために」	○ 見開き2ページに、イラストや吹き出しとともに、授業でどのようにして学んでいくのかを、「問題に気づく」「考え、話し合う」「深める」「つなぐ」の4つで示している。	○ 「道徳科で学びを深めるために」 ・最高の仲間とは、どんな仲間でしょうか。どうしたら、最高の仲間になれるでしょうか。考えてみましょう。
		○ 「この教科書で学んでいくテーマ」	○ 見開き2ページに、道徳科で考えていきたいテーマを7つ、教材名とともに示し、興味があることやこれから学びたいこと、がんばりたいことを書く欄を1箇所設けている。	○ 「生命の尊さ」 ・あなたが うまれた ひ ・いのちを考える
光 村		○ 「本書で学ぶ皆さんへ」	○ 1ページを使って、1時間の学びの道すじを、「①考えよう」「②見方を変えて」「③つなげよう」の3つで示している。	○ 「教材を通して考えを深めることができるよう、次のようなてびきを用意しました」 ・①考えよう ・②見方を変えて
		○ 「道徳の授業を始めよう！」	○ 第1教材として、見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目とともに「何を学ぶのか」、続く見開き2ページに、「どのように学ぶのか」を示している。	○ 「道徳で何を学ぶの？」 ・よりよい生き方って、どんなものなのでしょう。
		○ 「学びの記録」	○ 巻末折り込みに、シーズンの始まりに学んでいくにあたっての思いを書く欄を、3つのシーズンごとに1箇所ずつ設けている。	○ 「どうやって学ぶの？」 ・道徳は、どうやって学んでいけばよいのでしょうか。
				○ 「学びの記録」 ・6・7ページを読んで、自分の考えを書き留めておこう。

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 「道徳科で学ぶこと・道徳科での学び方」</p> <p>○ 「この教科書で学ぶテーマ」</p> <p>○ 「であう」</p>	<p>○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を示すとともに、イラストや写真を使い、道徳科での学び方を「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」の3つで示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、より広く、深く考え合いたい10のテーマを教材名とともに示している。</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」の1ページを使って、自分の好きな言葉や自分の好きなところ等、6項目について書く欄を設けている。</p>	<p>○ 「道徳科って何を学ぶの？」</p> <p>○ 「教材をとおして、よいと思ったのはどんなことだろうか。道徳的に問題だと感じたのはどんなことだろうか。」</p> <p>○ 『『いじめ』と向き合う』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さかなのなみだ</li> <li>・『いじめ』って何？</li> </ul> <p>○ 「自分について書いてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな言葉</li> <li>・自分の好きなところ</li> </ul>
<p>学 研</p>	<p>○ 「新しい扉を開く」</p> <p>○ 「よりよく生きるための22の鍵」</p> <p>○ 「さまざまなテーマで学ぼう」</p> <p>○ 「マイプロフィール」</p>	<p>○ 見開き2ページに、イラストや吹き出しを使い、考えを深めるステップを「1見つけよう」「2考えよう」「3話し合おう」「4生き方につなげよう」の4つで示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目と教材名を示している。</p> <p>○ 1ページを使って、6つのテーマを教材名とともに示している。</p> <p>○ 1ページを使って、自分の好きな言葉や好きな歌等、8項目について書く欄を設けている。</p>	<p>○ 「1見つけよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの生活での問題をつなげてみよう。</li> </ul> <p>○ 「自分を見つめ伸ばす」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え、判断し、実行し、責任をもつ</li> </ul> <p>○ 「かけがえのない命」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたに</li> <li>・いっぱい生きる 全盲の中学校教師</li> </ul> <p>○ 「中学生になった自分を見つめて書いてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな言葉</li> <li>・好きな歌</li> </ul>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 「自分を見つめよう」</p> <p>○ 「中学1年生の私」</p> <p>○ 「心のしおり」</p>	<p>○ 見開き2ページに、道徳の時間について、「さまざまな答えがある」「よさや問題点を見つけ、考える」「ともに考え、話し合う」「自分を見つめ、考える」「書くことで、考えを深める」の5つを示している。</p> <p>○ 巻末の見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目と教材名を示している。</p> <p>○ 別冊「中学生の道徳ノート1」の1ページを使って、自分の好きなスポーツや歌等、16項目について書く欄を設けている。</p> <p>○ 別冊「中学生の道徳ノート1」の「心のしおり」の折り込みに、伸ばしていきたいことや今後の目標を書く欄を3箇所設けている。</p>	<p>○ 「さまざまな答えがある」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間は、人として大切なことを理解し、それをもとに自分の生き方について考えを深める時間です。</li> </ul> <p>○ 「主として自分自身に関すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ</li> </ul> <p>○ 「中学1年生の私」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなスポーツ</li> <li>・好きな歌</li> </ul> <p>○ 「自分を見つめよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①伸ばしていきたいこと・今後の目標</li> </ul>
<p>日 科</p>	<p>○ 「道徳科って何を学ぶの？」</p> <p>○ 「教科書の使い方」</p>	<p>○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに内容項目を示している。また、多様な考えを知るための6つの方法を示している。</p> <p>○ 1ページを使って、教科書の使い方を5点示すとともに、自分の好きなことや好きな言葉等、6項目について書く欄を設けている。</p>	<p>○ 「主として人とかかわりに関すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやり</li> <li>・感謝</li> </ul> <p>○ 「多様な考えを知るために」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①自分の考えを持ち、積極的に発言する</li> </ul> <p>○ 「教材やコラムを読んで、自分の考えを持ちましょう。」</p> <p>○ 「心の成長を目指して」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなこと</li> <li>・好きな言葉</li> </ul>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②発問の工夫
方法	記載箇所, 数, 記載例

教材名「二通の手紙」(「元さんと二通の手紙」)			
内容項目C 「遵法精神, 公德心」			
	記載箇所	数	記載例
東 書	○ 教材文の終わり	2	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「考えよう」のコーナーに, マークとともに記載している。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・元さんがはればれとした顔で職場を去ることができたのは, なぜだろう。</li> </ul> </li> <li>○ 「自分を見つめよう」のコーナーに, マークとともに記載している。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の中で規則や決まりを守ることが大切なのは, なぜだろう。</li> </ul> </li> </ul>
教 出	○ 冒頭の教材名の下  ○ 教材文の終わり	4	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「集団や社会との関わりについて考える教材」を表す青色のマークとともに記載している。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな場合でも, きまりは優先されるべきなのだろうか。</li> </ul> </li> <li>○ 「学びの道しるべ」のコーナーに, 「集団や社会との関わりについて考える教材」を表す青色のマークとともに記載している。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・元さんがはればれとした顔で身のまわりを片づけ, 職場を去っていったのはなぜだろう。</li> <li>・姉弟を入園させた元さんの判断を, あなたはどう思うだろうか。</li> <li>・きまりや法は, なんのためにあるのだろうか。</li> </ul> </li> </ul>
光 村	○ 教材文の終わり	3	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「集団や社会との関わりに関すること」を表す桃色の枠で示した「考えよう」のコーナーの, 「規則は, 何のためにあるのだろう。」というめあての吹き出しの下に, マークとともに記載している。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・元さんは, 規則を知っていながら, どうして姉弟を動物園の中に入れたのだろう。</li> <li>・元さんが, 「この年になって初めて考えさせられ」たのは, どんなことだったのだろう。</li> </ul> </li> <li>○ 「集団や社会との関わりに関すること」を表す桃色の枠で示した「見方を変えて」のコーナーに, マークとともに記載している。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・もし, 入園終了時間直後の姉弟がやってきた場面に戻れたとしたら, 元さんは, どうするのだろうか。</li> </ul> </li> </ul>

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 教材文の終わり</p> <p>○ 教材文に続く見開き2ページ</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」の1ページ</p>	<p>4</p>	<p>【第3学年】</p> <p>○ 「考えてみよう」のコーナーに、マークとともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元さんが、二通の手紙を並べて見比べながら、初めて考えさせられたこととはなんだろう。（「学習の進め方」の「②自分で考えてみよう」と同じ）</li> </ul> <p>○ 「自分に+1（プラスワン）」のコーナーに、マークともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法やきまりについて、どのように考えればよいかまとめてみよう。</li> </ul> <p>○ 問題解決的な学習に適した教材の参考例として「学習の進め方」のページに、「考えてみよう」「自分に+1」に示した発問に加え、2つの発問を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「①問題をつかもう」 姉弟を入園させた元さんの、何が問題だったのだろう。</li> <li>・「③問題について考え、議論しよう」 ②で考えたことをグループで話し合おう。また、この動物園のきまりは何のためにつくられたのかもあわせて考えてみよう。</li> </ul> <p>○ 上記と同様のものを記載している。</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 教材文の終わり</p>	<p>2</p>	<p>【第3学年】</p> <p>○ 「主として集団や社会との関わりに関すること」を表す青色の枠の中の「考えよう」のコーナーに、マークとともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二通の手紙を前に、元さんが考えさせられたこととはどのようなことだろう。</li> <li>・この話から、どのようなことを自分に生かせるだろうか。</li> </ul>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 教材文の終わり</p>	<p>4</p>	<p>【第3学年】</p> <p>○ 「主として集団や社会との関わりに関すること」を表す青色の枠の中の「考える・話し合う」のコーナーに、「懲戒処分を受けたにも関わらず、晴れ晴れと職場を去った元さんを通して、規則の尊重について考える。」というめあてとともに記載している。</p> <p>○ 「学習の手がかり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元さんはどう思って、姉弟を特別に入園させたのか。</li> <li>・二通の手紙を見比べて元さんが考えたことはなんだろう。</li> <li>・元さんはどうして晴れ晴れとした顔で身の回りの片づけをし、職場を去っていったのだろう。</li> </ul> <p>○ 「考えを広げる・深める」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規則に問題があったのか、それとも元さんの思いやりに問題があったのか、考えてみよう。</li> </ul>
<p>日 科</p>	<p>○ 教材文の終わり</p>	<p>3</p>	<p>【第2学年】</p> <p>○ 「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーに、「集団や社会とのかかわり」を表すオレンジ色のマークとともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人の姉弟を入園させた元さんをどう思いますか。</li> <li>・この年になって初めて考えさせられることとは、どんなことだったのでしょうか。</li> <li>・元さんが晴れ晴れとした顔で身の回りを片付け、自ら職を辞し、職場を去って行ったのはどうしてでしょう。</li> </ul>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	③問題解決的な学習を取り入れた工夫
<b>方法</b>	問題解決的な学習の扱い，教材名等・内容項目・問題意識のもたせ方，発問の具体例

	問題解決的な学習の扱い	第2学年	
		教材名等・内容項目・問題意識のもたせ方	発問の具体例
東 書	○ 問題解決的な学習ができるよう，2つの教材を配置し，教材冒頭にテーマを示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名等 (テーマ) 「自分を信じて生きるとは…」</li> <li>○ 内容項目 「D よりよく生きる喜び」</li> <li>○ 問題意識のもたせ方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材冒頭に「自分を信じて生きるとは…」とテーマを示している。</li> <li>・1つ目の教材で正直に話す時の気持ち等，2つ目の教材でドーピングを認めた主人公の姿等から，自分を信じて生きることについて考えさせている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1つ目の教材の中に示している。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・このようなとき，あなたならどのような気持ちになりますか。それぞれの場面における，あなたの気持ちを書きましょう。</li> <li>・人間の弱さ・みにくさといえるのは，どのようなことでしょうか。また，人間の強さ・気高さといえるのは，どのようなことでしょうか。</li> <li>・自分がうそをつかれたらいやなのに，もやもやした気持ちになるのに…。それなのに，なぜうそをついてしまうのでしょうか。</li> <li>・正直に話せるとほっとすることがあるのは，なぜでしょう。</li> </ul> </li> <li>○ 2つ目の教材の「考えよう」「自分を見つめよう」の中に示している。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドーピングを認める発表に，エイミーを向かわせたものは何だったのだろうか。</li> <li>・自分を信じて生きるとは，どのようなことだろうか。</li> </ul> </li> </ul>
教 出	○ 問題解決的な学習ができるよう，教材文の終わりに「学びの道しるべ」のコーナーを設けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名等 (教材名) 「まだ食べられるのに」</li> <li>○ 内容項目 「C 社会参画，公共の精神」</li> <li>○ 問題意識のもたせ方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名の下に「まだ，食べられるものを捨てたことではないだろうか。あるとすればその理由はなんだろう。」と問いを示している。</li> <li>・食品ロスが発生している状況から，「持続可能な社会」にするために社会の一員として大切なことについて考えさせている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学びの道しるべ」の中に示している。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・イチゴを少しだけかじって捨てた人を，あなたは思うだろうか。</li> <li>・やむをえない理由があれば，まだ食べられるものを捨ててもいいのだろうか。</li> <li>・「持続可能な社会」にするために，あなたはどんな消費者を目標にしたいだろうか。</li> </ul> </li> </ul>
光 村	○ 問題解決的な学習ができるよう，教材文の終わりに「てびき」を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名等 (教材名) 「テニス部の危機」</li> <li>○ 内容項目 「C よりよい学校生活，集団生活の充実」</li> <li>○ 問題意識のもたせ方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えよう」のタイトルの下に，「集団の一員として，よりよくあるために大切なことは，何だろう。」とめあてを示している。</li> <li>・部活動に違う考えをもつ登場人物の姿から，集団の一員としてよりよくあるために大切なことについて考えさせている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「てびき」として「考えよう」「つなげよう」の順に示している。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・テニス部に危機が生じたのは，どうしてだろう。</li> <li>・テニス部をよりよい集団にするために，白石君と木戸君は，この後，どんな行動を取ればよいだろう。</li> <li>・あなたの学校生活を支えている学校の人たちは，集団の一員として，どのような思いで仕事に取り組んでいるのだろうか。</li> </ul> </li> </ul>

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 問題解決的な学習に適した教材には、目次、該当ページにマークを付けて示すとともに、教材文の終わりに問題を解決するための「学習の進め方」のページを設けている。</p>	<p>○ 教材名等（教材名） 「足袋の季節」 ○ 内容項目 「D よりよく生きる喜び」 ○ 問題意識のもとせ方 ・「学習の進め方」のタイトルの下に「話し合いをとおして、人間の弱さや醜さを克服し、強く気高く生きることについて考えてみよう。」と何について議論するのかを示している。 ・「私」の生き方から、「人が強く気高く生きる」とはどのようなことかについて考えさせている。</p>	<p>○ 「学習の進め方」の中に、「①問題をつかもう」「②自分で考えてみよう」「③問題について考え、議論しよう」の順に示している。 ・「私」の弱さや醜さが表れている場面を挙げてみよう。 ・①で挙げた場面には、「私」のどんな弱さや醜さが表れているのだろうか。 ・弱さや苦しみを乗り越えていこうとする「私」の生き方から、「人が強く気高く生きる」ということについて考えてみよう。グループで話し合い、自分の考えをまとめよう。</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「深めよう」のページを設けている。</p>	<p>○ 教材名等（教材名） 「鳥のように空を飛びたい高梨沙羅」 ○ 内容項目 「A 節度、節制」 ○ 問題意識のもとせ方 ・「深めよう」の横に、「自分の生活を見直してみよう」と示している。 ・高梨沙羅選手の姿から、自分の目標を達成するために日々の生活で大切なことについて考えさせている。</p>	<p>○ 「深めよう」の中に、「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」「生き方につなげよう」の順に示している。 ・高梨沙羅選手が日々の生活で気を付けていることを見つけてみよう。 ・高梨選手の生活と自分自身の生活を比べて、どんな違いがあるか、考えてみよう。 ・自分の目標を達成するためには、日々の生活の中でどのような心掛けが必要だろうか。 ・自分で生活をコントロールすることを考えよう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「考える・話し合う」のコーナーを設けている。</p>	<p>○ 教材名等（教材名） 「いつでも・どこでも・誰とでも」 ○ 内容項目 「B 礼儀」 ○ 問題意識のもとせ方 ・「学習の手がかり」に、「佳子と『私』のレストランでの出来事を通して、礼儀について考える。」とめあてを示している。 ・佳子と「私」のレストランでの出来事から、礼儀の大切さについて考えさせている。</p>	<p>○ 「考える・話し合う」の中に、「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」の順に示している。 ・テーブルの空気が冷たくなったのはなぜだろう。 ・本当のコミュニケーションに必要なことや大切なことをできるだけたくさん挙げてみよう。 ・「時と場に応じた適切な礼儀」を考えると、どんなことを大切にすればよいのだろうか。 ・コミュニケーションのための便利な情報機器が、一瞬にして人と人との関係を破壊することもある。情報機器に振り回されないためには、どんなことを心がけるとよいか考えてみよう。</p>
<p>日 科</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「考え、話し合ってみよう。そして、深めよう」のコーナーを設けている。</p>	<p>○ 教材名等（教材名） 「パートリーダー」 ○ 内容項目 「A 自主、自律、自由と責任」 ○ 問題意識のもとせ方 ・パートリーダーとしての役割に葛藤する主人公の姿から、責任を果たすことについて考えさせている。</p>	<p>○ 「考え、話し合ってみよう。そして、深めよう」の中に示している。 ・教室を飛び出していった真人は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ・パートリーダーとして何もしようとしなかった自分が急に情けなく思えたのはどうしてでしょうか。 ・「でも…」に続く真人の言いたいことを考えてみましょう。</p>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④体験的な学習を取り入れた工夫
<b>方法</b>	体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例

	体験的な学習の扱い	第3学年	
		教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例
<b>東 書</b>	○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促す教材を掲載するとともに、動作や演技に関するマークを目次及び該当ページに示している。	○ 教材名等（テーマ） 「次世代のにない手として」 ○ 内容項目 「C 遵法精神, 公德心」 ○ 体験的な活動の概要 ・人から迷惑をかけられそうになった時の伝え方について、缶コーヒーをめぐるやりとりの場面を基に演じて考える活動	○ 「ACTION アクション！」のページに、演技の手順を示し、役割演技を促している。 ・①「缶コーヒー」（96～99 ページ）で、缶コーヒーが転がって、「私」のスカートとノートがよごれてしまったとき、それぞれの人は、どのような気持ちになったか、下のふき出しに書きましょう。 ・②3人一組になって、「会社員の女性」役、「私」役、「竹内さん」役と、役割を決めましょう。 ・③役を交替しながら、全員が全ての役を演じましょう。 ・④それぞれの役を演じてみて、気づいたこと、感じたことを書きましょう。
<b>教 出</b>	○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けるとともに、動作や演技に関するマークを該当ページに示している。	○ 教材名等（教材名） 「校長先生の模擬面接」 ○ 内容項目 「B 礼儀」 ○ 体験的な活動の概要 ・社会のマナーやエチケットについて、グループごとに一つの場面を基に演じて考える活動	○ 教材文の終わり「やってみよう」のページに、発問を示し、役割演技を促している。 ・1 社会にはさまざまなマナーやエチケットがあります。どのようなものがあるか、あげてみましょう。 ・2 皆さんがあげた中から、グループで一つの場面を演じてみましょう。そして、演じてみた感想を書きましょう。 ・3 これまで、エスカレーターに乗るときは「歩く人のために片側をあける」というのがマナーになっていました。しかし、最近では「歩行禁止」がマナーになりつつあります。なぜ変わってきたのでしょうか。みんなで話し合ってみましょう。
<b>光 村</b>	○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けている。	○ 教材名等（教材名） 「二通の手紙」 ○ 内容項目 「C 遵法精神, 公德心」 ○ 体験的な活動の概要 ・入園終了時刻の規則について、それぞれの立場でどのように考えたのかを、姉弟がやってきた場面を基に演じて考える活動	○ 教材文の終わり「考えよう」の下の、「見方を変えて」のコーナーに、発問を示し、役割演技を促している。 ・もし、入園終了時間直後の姉弟がやって来た場面に戻れたとしたら、元さんはどうするだろう。 ・元さんと姉弟を演じて、考えてみよう。 ・元さんは、姉弟に、どんな思いで話をするだろう。 ・元さんの話を聞いて、姉弟は、どんなことを思っただろう。 ・演じているのを見ていた人は、元さんと姉弟のやり取りから、どんなことを感じたかを発表しよう。

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けるとともに、動作や演技に関するマークを目次、該当ページに示している。</p>	<p>○ 教材名等（教材名） 「出迎え三歩，見送り七歩」 ○ 内容項目 「B 礼儀」 ○ 体験的な活動の概要 ・お客様をどのように出迎え，見送ればよいのかについて，具体的な場面を基に演じて考える活動</p>	<p>○ 「学習の進め方」のページに，学習の手順を示し，役割演技を促している。 ・①お客様の出迎え方と見送り方について，グループで話し合おう。 ・②体験しよう ①で話し合った出迎え方，見送り方をみんなの前で演技してみよう。 ・③演技のあと，感想や意見を発表し合おう。 ・④考えてみよう 「出迎え三歩，見送り七歩」を読み，山折さんが『『もてなし』の極意』ではないかと感じたのはどんなことか考えてみよう。体験したこととあわせて，お客様と接するとき，どんな心構えが大切かも話し合ってみよう。</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けている。</p>	<p>○ 教材名等（教材名） 「笛」 ○ 内容項目 「B 相互理解，寛容」 ○ 体験的な活動の概要 ・もらった笛を誰のものにすべきだったのかについて，4人組で話し合っている場面を基に演じて考える活動</p>	<p>○ 「深めよう」のページの「やってみよう」に，演技の手順を示し，役割演技を促している。 ・少年たちが笛を誰のものにするか話し合っている場面を演じてみよう。4人組で役割演技を行う。 ・①3人の少年役（アンドレ，マイケル，ピート）と仲介役を決める。仲介役は，3人の話を聞き，自分の考えを伝え，解決できるように説得する。3人の少年は自分の立場から考えを話す。 ・②役割を交代する。4人の役を全員が経験するように繰り返す。 ・③仲介役の演技を通して考えたことを話し合う。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 体験的な学習を促す教材を掲載している。</p>	<p>○ 教材名等（教材名） 「席を譲られて」 ○ 内容項目 「B 礼儀」 ○ 体験的な活動の概要 ・礼儀に必要な作法と作法に込める心について，席を譲る場面を基に考える活動</p>	<p>○ 「考える・話し合う」のコーナーの「学習の手がかり」，「考えを広げる・深める」に，めあてや発問を示し，役割演技を促している。 ・筆者が目撃した二つの光景を比べて，礼儀に必要な作法と作法に込める心について考える。 ・高橋健二氏のしぐさを見て，私が見た「美しいもの」とはなんだろう。 ・席を譲られた人の心には，何がなければならないのだろうか。 ・礼儀に込めなければならない心について考えてみよう。 ・老人や赤ん坊を抱いた人，障がいのある人等に席を譲るとき，どのようなことに心がければよいだろうか。</p>
<p>日 科</p>	<p>○ 体験的な学習を促す教材を掲載している。</p>	<p>○ 教材名等（教材名） 「礼儀はなぜ必要なのか」 ○ 内容項目 「B 礼儀」 ○ 体験的な活動の概要 ・三つの場面ごとに，礼儀正しい振る舞いと無礼な振る舞いについて，具体的な場面を基に考える活動</p>	<p>○ 教材の冒頭，及び教材文の終わり「考え，話し合ってみよう そして，深めよう」のコーナーに，発問を示し，役割演技を促している。 ・次の三つの場面において，“最も礼儀正しい振る舞い”と“最も無礼な振る舞い”は何でしょうか。 ・初めて人に会う時 ・不注意で隣の家の窓ガラスを割って謝罪に行く時 ・プレゼントを人からもらった時 ・なぜ礼儀正しいことが大切だとされているのでしょうか。</p>

【特別の教科 道徳】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑤分量や教材の数
<b>方法</b>	判型, ページ数, 4つの視点ごとの教材数

	学年	判型 (別冊判)	ページ数 (別冊ページ数)	4つの視点ごとの教材数 (※複数内容項目教材)			
				A	B	C	D
東書	第1学年	A B	196	7	8	14	8
	第2学年		204	7	7	14	9
	第3学年		204	7	7	15	8
教出	第1学年	B 5	218	8	8	12	7
	第2学年		202	7	7	16	5
	第3学年		202	6	5	15	9
光村	第1学年	B 5	197	8※	10※	14※	9※
	第2学年		205	11※	8※	13※	9※
	第3学年		205	10※	9※	14※	9※
日文	第1学年	B 5 (B 5)	198 (42)	6	7	15	7
	第2学年		198 (42)	6	7	15	7
	第3学年		198 (42)	6	6	16	7
学研	第1学年	A B	186	8	7	13	7
	第2学年		198	8	7	12	8
	第3学年		198	8	8	12	7
廣あかつき	第1学年	A B (A B)	186 (52)	8	7	12	8
	第2学年		170 (52)	8	7	12	8
	第3学年		166 (52)	8	7	12	8
日科	第1学年	B 5	194	6	8	17	6
	第2学年		194	7	8	15	7
	第3学年		194	7	7	15	8

【備考】全ての発行者に掲載されている教材名 教材名が複数ある場合、他の教材名を( )で示している。

教材名	学年	教材名	学年
足袋の季節	第2学年	二通の手紙	第2学年
	第3学年	(元さんと二通の手紙)	第3学年

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
方法	いじめの問題の扱いと教材等の例

	いじめの問題の扱い	第1学年
		教材等の例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3つの教材で構成されたいじめ問題対応ユニット「いじめのない世界へ」を設け、4～5月に配置している。</li> <li>○ いじめ問題対応ユニット「いじめのない世界へ」は、目次に桃色の枠囲みで示している。</li> <li>○ 巻末において、「人権・いじめ」をテーマとした教材を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いじめに当たるのはどれだろう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 相互理解, 寛容」</li> <li>・イラストを見て、いじめに当たる行為について考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「傍観者でいいのか」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「A 自主, 自律, 自由と責任」</li> <li>・いじめの状況を作らないために、自分たちができることについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「ふたつの心」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>※複数内容項目</li> <li>・いじめの状況を改善するために、それぞれの人ができることについて考えさせる教材</li> </ul> </li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめを直接的に扱った教材や、いじめを許さない心の育成を間接的に支えるための教材、コラムページを組み合わせてユニットを設け、体系的に配置している。</li> <li>○ 「いじめや差別について考える教材」には、マークを使い、目次及び該当ページに示すとともに、目次に青色の枠囲みで示している。</li> <li>○ 巻頭において、「いじめ・人権」をテーマとした教材を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニットとびら「いじめに立ち向かう君に」</li> <li>○ 「ルールとマナー」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 遵法精神, 公德心」</li> <li>・ルールとマナーが、私たちの生活になぜ必要なのかについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「『いじり』? 『いじめ』?」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 相互理解, 寛容」</li> <li>・お互いの考えや気持ちを伝え合うとき、どのような心がまえが必要なのかについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ コラム「いじめに立ち向かう コミュニケーションのしかたを見直そう」</li> <li>○ 「ごめんね, おばあちゃん」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 家族愛, 家庭生活の充実」</li> <li>・家族の一員として、自分にできることについて考えさせる教材</li> </ul> </li> </ul>
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 複数の教材から成るユニット「いじめを許さない心について考える」を設け、学年の前半に配置している。</li> <li>○ ユニット「いじめを許さない心について考える」は、目次に緑色の下線で示している。</li> <li>○ 「いじめ問題」については、直前の教材で学んだことを深く考える「深めたいむ」を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「魚の涙」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」</li> <li>・いじめが起こらない社会をつくるために大切なことについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「深めたいむ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめをなくすために大切なことは何か、考えよう。</li> </ul> </li> <li>○ 「私の話を聞いてね」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 相互理解, 寛容」</li> <li>・人と人がかかわり合うために大切なことについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ コラム「ユニバーサルデザイン—誰もが使いやすいものを」</li> </ul>

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめを直接的・間接的に扱った教材とコラム「プラットホーム」をユニット化し、年間で複数配置している。</li> <li>○ ユニット『『いじめ』と向き合う』は、目次に橙色の下線で示している。</li> <li>○ 巻頭において、『『いじめ』と向き合う』をテーマとした教材を示している。</li> <li>○ いじめを扱う最初のユニットに、扉ページ『『いじめ』と向き合う』を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『『いじめ』と向き合う』</li> <li>○ 「さかなのなみだ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」</li> <li>・いじめのない集団にするためには、どんなことを大切にしなければならないかについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ コラム『『いじめ』って何?』</li> <li>○ 「近くにいた友」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 友情, 信頼」</li> <li>・お互いに心から信頼できる友達になるためには、どんなことが必要なのかについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ コラム「怒りの感情と上手につき合おう」</li> <li>○ 「トマトとメロン」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「A 向上心, 個性の伸長」</li> <li>・自分の個性を生かして生きるためには、どんなことが大切かについて考えさせる教材</li> </ul> </li> </ul>
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめ防止につながる教材を選定するとともに、いじめ防止につながる特設ページ「クローズアッププラス」を設けている。</li> <li>○ 巻頭において、「いじめをなくすために」をテーマとした教材を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「うさで決めるの?」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」</li> <li>・友達に対して偏見をもたないようにするために、どうしたらよいかについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「裏庭での出来事」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「A 自主, 自律, 自由と責任」</li> <li>・自分自身がよく考え、誠実に行動するために必要なことについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ クローズアップ「どうしてそんなことをするのか」</li> <li>○ 「公平とはなんだろう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」</li> <li>・差別や偏見のない社会を実現するために、身近でできることについて考えさせる教材</li> </ul> </li> </ul>
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめを直接的に扱った教材とともに、教材の学びを深める特集「thinking」を設けている。</li> <li>○ 「いじめ」を様々な内容項目の学習と関連させながら考える特集ページ「いじめを許さない 私たちの心」を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ヨシト」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」</li> <li>・いじめのない愛のある学級にするためにどんなことが大切なのかについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 特集「thinking してもよい『いじめ』などない」</li> <li>○ 「ある日のバターボックス」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」</li> <li>・差別や偏見をなくし、よりよい人間関係を築くために、誰に対しても公平に接するとはどういうことかについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 特集「いじめを許さない 私たちの心」</li> <li>○ 「いじめ撲滅宣言」(別冊「中学生の道徳ノート1」)</li> </ul>
<p>日 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめを正面から取り上げている教材と、生命尊重への学びをより深める教材を複数選定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いつもいっしょに」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 友情, 信頼」</li> <li>・友達とよい関係を築いていくためには、どのようなことが大切なのかについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「プロレスごっこ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 社会参画, 公共の精神」</li> <li>・いじめの状況を改善するためにできることについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「過去からのメッセージ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「D 生命の尊さ」</li> <li>・先祖から受け継ぎ、子孫へと受け渡していく生命の連続性について考えさせる教材</li> </ul> </li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑦巻頭等，巻末等の取扱いの工夫
<b>方法</b>	巻頭等，巻末等の示し方

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には，4つの視点で色分けしたマークとともに，掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年の目次には，いじめ問題対応ユニット，生命尊重ユニットを色で囲み，まとまりを示している。</li> <li>○ 各学年，折り込みページの扉に詩を掲載している。</li> <li>○ 各学年，「話し合いの手引き」を折り込みページで示している。</li> <li>○ 各学年，「道徳の授業はこんな時間に」を折り込みページで示している。</li> <li>○ 各学年，「1年間で学ぶこと」とし，4つの視点ごとに教材名を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年，「テーマでふり返ろう」とし，6つのテーマで教材を分類して示している。</li> <li>○ 各学年，「自分の学びをふり返ろう」とし，切り取り式の自己評価用紙を各学期分設けている。</li> <li>○ 第1学年は，「橋の上のおおかみ」を見開き2ページで，第2学年は，「読書で広げる道徳」，第3学年は，「将来の姿をイメージしよう」をそれぞれ1ページ設けている。</li> <li>○ 各学年，「郷土のことを考える」を見開き2ページで設けている。</li> <li>○ 各学年，切り取り式のホワイトボード用紙，心情円を設けている。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次の前に，詩を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年の目次には，4つの視点で色分けしたマークとともに，掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年の目次には，いじめや差別のない社会について考えるユニット，生命の尊さについて考えるユニットを色で囲み，まとまりを示している。</li> <li>○ 各学年，「道徳科で学びを深めるために」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年，「この教科書で学んでいくテーマ」を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年，「道徳の学びを記録しよう」を見開き2ページで設けている。</li> <li>○ 各学年，「これからを生きる皆さんへ」を設けている。</li> <li>○ 各学年，切り取り式で「道徳の学びを振り返ろう」を各学期分，「1年間の道徳の学びを振り返ろう」を1回分，設けている。</li> <li>○ 各学年，「都道府県にゆかりのある人物と，その言葉」を6ページにわたって示している。</li> </ul>

【特別の教科 道徳】

<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年の目次には、シーズンごとのまとまりを色別で区別し、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年の目次には、シーズンごとの「学びのテーマ」に応じた複数のユニットに下線を引き、テーマを教材名の下に示している。また、年間に4か所、複数時間で取り組む教材を色で囲んで示している。</li> <li>○ 各学年、「本書で学ぶ皆さんへ」を1ページ使って示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、「教材別テーマ一覧」を設け、「はじめを許さないために」「キャリア」など7つのテーマについて、教材との関連を示している。</li> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、現代的な課題等との関わり、他教科・領域との関わりを示している。</li> <li>○ 各学年、切り取り式の「学びの記録」をシーズンごとに折り込みで設けている。</li> <li>○ 第3学年は、「人生目標年表を書こう」を見開き2ページで設けている。</li> <li>○ 第1学年は、「日本の郷土玩具」を見開き2ページで、第2学年は、「日本各地の世界遺産」を3ページにわたって、第3学年は、「日本の先駆者たち」を4ページにわたって、「茶道に込められた礼儀の心」を見開き2ページで設けている。</li> <li>○ 各学年、各分野で活躍している人のメッセージを見開き2ページで掲載している。</li> </ul>
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次の前に、学年のテーマ等を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年の目次には、『『いじめ』と向き合う』『よりよい社会と私たち』のユニットを色で囲み、テーマを教材名の下に示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳科で学ぶこと」「道徳科での学び方」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「この教科書で学ぶテーマ」を見開き2ページで示し、『『いじめ』と向き合う』『よりよい社会と私たち』のテーマには囲みがある。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」の目次には、各学年、掲載している全ての教材名及び「ノートの使い方」を示している。各学年、目次の次に、学年のテーマを題したページを1ページ設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、テーマや教科等との関連等を記載している。</li> <li>○ 各学年、詩を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」には、各学年、「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」で、学期ごとに振り返り欄を1ページ設けている。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」には、各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、テーマ等を掲載している。</li> </ul>

【特別の教科 道徳】

<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次の前に、著名人の言葉を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年の目次の前に、「道徳で学ぶこと・考えること」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年の目次には、「地球と地域の未来のために」「夢に向かって共に輝く」のユニットにテーマごとに色で囲み、マークで示している。</li> <li>○ 各学年、「よりよく生きるための22の鍵」を4つの視点に分類し、見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「さまざまなテーマで学ぼう」を1ページ使って示している。</li> <li>○ 各学年、「マイプロフィール」を1ページ設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示している。</li> <li>○ 各学年、「心の四季」を1ページ設けている。</li> <li>○ 各学年、「学びの記録」で、切り取り式の振り返り用紙を4回分設けている。</li> <li>○ 第3学年は、「未来への扉」を1ページ設け、歌詞を続く1ページに掲載している。</li> </ul>
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年の目次の後に、教科書名に関する詩を1ページ使って掲載している。</li> <li>○ 各学年、「―道徳の時間とは―」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 別冊「中学生の道徳ノート」の目次には、各学年、4つの視点で色分けをし、内容項目を示している。また、各学年「中学〇年生の私」を1ページ設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、「内容一覧」とし、内容項目や他教科・領域・現代的な課題等との関わりを示している。</li> <li>○ 各学年、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「いじめ」、「情報モラル」、「持続可能な社会」について考えるページを、それぞれ見開き2ページで示している。</li> <li>○ 別冊「中学生の道徳ノート」には、各学年、「心のしおり」を折り込みページで、「学習の記録」を見開き18ページ、「心に残っている授業の記録」を1ページ設けている。</li> </ul>
<p>日 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けをし、内容項目順に掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、詩を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年、「道徳科って何を学ぶの？」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「教科書の使い方」「心の成長を目指して」を1ページ使って示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1・2学年は、各学年の「心の成長」や「道徳の時間」、「これからの心の成長」の振り返り、第3学年は「心の成長」や「3年間の道徳の授業」、「心を動かした3年間のできごと」の振り返りを、見開き2ページで設けている。</li> <li>○ 各学年、「学習指導要領対応表」とし、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 第3学年は、詩を見開き2ページで掲載している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑧教材の内容を理解させる工夫
<b>方法</b>	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例

	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「アクション」、「プラス」のマークを設定している。</li> <li>○ 「★」のマークを設定している。</li> <li>○ Dマーク、教科関連マーク、心情円のマークを設定している。</li> <li>○ 「考えよう」、「自分を見つめよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「つぶやき」のマークを設定している。</li> <li>○ キャラクター「考えタイガー」、「あや」、「しょう」を設定している。</li> <li>○ QRコード及びURLを示している。</li> <li>○ 「他教科リンク」、「動画」、「Webページ」のマークを設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次及びテーマや教材名等の上に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 目次及び該当のページの右上に、マークを使い、「アクション」は役割演技や体験的な学習を主体としたグループエンカウンターのパージを示し、「プラス」は、直前の教材に関連したコラムのページを示している。</li> <li>○ 目次に「★」のマークを使い、切り取って使える巻末付録を示している。</li> <li>○ テーマや教材名の下に、マークを使い、デジタルコンテンツ、関連して扱える教科があること、心情円を活用できることをそれぞれ示している。</li> <li>○ 教材文の終わりに、「考えよう」のマークを使い、教材の中心発問を、「自分を見つめよう」のマークを使い、自己を振り返る一般化の発問を示している。</li> <li>○ 教材の下に「つぶやき」のマークを使い、思ったことや考えたことを書き込む欄を示している。</li> <li>○ 「道徳の時間はこんな時間に」や「アクション」のページ等で、学習の進め方等を示している。</li> <li>○ 教科書裏表紙に、デジタルコンテンツにアクセスするためのQRコード及びURLを示している。</li> <li>○ 教科書裏表紙に、「他教科リンク」、「動画」、「Webページ」のマークを使い、対応するデジタルコンテンツがあることを示している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」のマークを設定している。</li> <li>○ 「学びの道しるべ」のマークを設定している。</li> <li>○ 「問い」のマークを設定している。</li> <li>○ 「やってみよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「まなびリンク」のマークを設定し、QRコード及びURLを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次及び教材名の右上に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 目次及び教材の左下に、「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」のマークを使い、「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について深く考えることができる教材を示している。</li> <li>○ 教材文の終わりに「学びの道しるべ」のマークを使い、様々な角度から考えたり話し合ったりする発問を示している。</li> <li>○ 教材名の下及び「学びの道しるべ」において、4つの視点で色分けした「問い」のマークを使い、意識づけをする問いを示している。</li> <li>○ 目次及び該当のページに、「やってみよう」のマークを使い、役割演技や、日常の体験を想起して話し合う活動を示している。</li> <li>○ 教材の左下及び巻末「資料」のページの該当する箇所の上に、「まなびリンク」のマークを使い、専用のウェブサイトアクセスできる教材を示している。また、目次に、アクセスするためのQRコード及びURLを示している。</li> </ul>

【特別の教科 道徳】

<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「考えよう」、「見方を変えて」、「つなげよう」のマークを設定し、問いを「・」で示している。</li> <li>○ 「深めたいむ」のマークを設定している。</li> <li>○ 「広げよう」のマークを設定している。</li> <li>○ QRコードを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の右上に、該当する4つの視点と内容項目を示している。</li> <li>○ 教材文の終わりに、「考えよう」、「見方を変えて」、「つなげよう」のマークを使い、めあて、別の立場や視点から考えられる問い、他教科や日常生活との関連等を示し、問いの前に「・」を示している。</li> <li>○ 目次及び該当のページの右上に「深めたいむ」のマークを使い、直前の教材で学んだことを、活動を通してさらに深めるページを示している。</li> <li>○ 目次及び該当のページの右上に「広げよう」のマークを使い、現代的な課題について学びを広げるコラムのページを示している。</li> <li>○ 教材名の下、「本書で学ぶ皆さんへ」のページ及び教科書裏表紙に、学習の参考となる資料等にアクセスするためのQRコードを示している。</li> </ul>
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「考えてみよう」、「自分に+1」のマークを設定している。</li> <li>○ 「プラットホーム」、「参考」、「私の生き方」のマークを設定している。</li> <li>○ 「問題解決的な学習」、「体験的な学習」のマークを設定している。</li> <li>○ 「教科書QRコンテンツ」のマークを設定し、QRコード及びURLを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の上及び別冊「道徳ノート」の教材名の左横に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 教材文の終わりに、「考えてみよう」のマークを使い、ねらいに迫るための発問を、「自分に+1」のマークを使い、前向きに自分に生かすための発問を示している。</li> <li>○ 目次及び該当のページやコーナーの上に「プラットホーム」、「参考」、「私の生き方」のマークを使い、「プラットホーム」は、他教科や様々な活動とつなげ、考えや視野を広げるコラム、「参考」は、教材の内容理解を助けるコラム、「私の生き方」は、生き方のヒントや応援メッセージのコラムのページ及びコーナーを示している。</li> <li>○ 目次及び教材名の右横、別冊「道徳ノート」の教材名の右横に「問題解決的な学習」「体験的な学習」のマークを使い、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」を扱う教材を示している。</li> <li>○ 目次及び教材名の右下に、「教科書QRコンテンツ」のマークを使い、教科書QRコンテンツにアクセスできる教材を示している。また、目次に、アクセスするためのQRコード及びURLを示している。</li> </ul>
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「考えよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「クローズアップ」、「クローズアッププラス」のマークを設定している。</li> <li>○ 「深めよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「ユニット学習」のマークを設定している。</li> <li>○ 「情報モラルマーク」、「いのち」のマークを設定している。</li> <li>○ 「書き込み欄」、「メモ欄」のマークを設定している。</li> <li>○ 「?ボックス・!ボックス」を設定している。</li> <li>○ 「QR」のマークを設定し、QRコードを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次及び教材名の右上に、該当する4つの視点を示している。</li> <li>○ 教材文の終わりに、「考えよう」のマークを使い、これからの生き方について考えるきっかけとなる問いかけを示している。</li> <li>○ 目次及び該当のページの上に「クローズアップ」、「クローズアッププラス」のマークを使い、関連情報により生き方の選択肢を増やすページを示している。</li> <li>○ 目次及び該当のページの左上に「深めよう」のマークを使い、教材を基に考えを深め、広げるページを示している。</li> <li>○ 目次及びトビラのページに、「ユニット学習」のマークを使い、複数の教材で連続して学び、テーマについて考えを深めるまとまりを示している。</li> <li>○ 目次及び教材名の下に、「情報モラルマーク」、「いのち」のマークを使い、「情報モラルマーク」は情報社会における生き方を考える教材を示し、「いのち」のマークは命について様々な観点から考える教材を示している。</li> <li>○ 教材の下に、「書き込み欄」のマークを使い、自分の考えを記述する欄を、「メモ欄」のマークを使い、思いや気づきを記述する欄をそれぞれ示している。</li> <li>○ 教材の下に、「?ボックス・!ボックス」を使い、授業をガイドする問いかけを示している。</li> <li>○ 教材名の下に、「QR」のマークを使い、デジタルコンテンツとして、インターネット上の教科書サイトにある補助教材にアクセスできる教材を示している。また、目次に、学研教科書サイトにアクセスするためのQRコードを示している。</li> </ul>

【特別の教科 道徳】

<p>廣あかつき</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点を色分けした丸の数で示している。</li> <li>○ 「考える・話し合う」「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」のマークを設定している。</li> <li>○ 木の葉のマークを設定している。</li> <li>○ 「thinking」のマークを設定している。</li> <li>○ 「生命」、「いじめ」、「情報」のマークを設定している。</li> <li>○ 「インターネット」のマークを設定し、QRコード及びURLを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の下に、該当する4つの視点と別冊「中学生の道徳ノート」の該当ページを示している。</li> <li>○ 教材文の終わりの「考える・話し合う」のコーナーに、「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」のマークを使い、「めあて」と「問い」、教材や内容項目についてさらに学習を深める内容を示している。</li> <li>○ 教材文の終わりに、木の葉のマークを使い、先人や現在活躍している著名人の言葉を掲載している。</li> <li>○ 目次、該当のページの上及び巻末の内容一覧に、「thinking」のマークを使い、教材と併せて活用できる特集を示している。</li> <li>○ 巻末の内容一覧に、「生命」、「いじめ」、「情報」のマークを使い、生命に関わる教材、いじめ防止・人権尊重に関わる教材、情報モラルに関わる教材を示している。</li> <li>○ 教材名の下に、「インターネット」のマークを使い、ホームページ上の資料にアクセスできる教材を示している。また、目次に、アクセスするためのQRコード及びURLを示している。</li> </ul>
<p>日科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの視点を色分けして示している。</li> <li>○ 「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「もっと知りたい」等のマークを設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次及び教材名の上に、色別の内容項目を表す番号を示すとともに、教材を囲む罫線、マーク等を色分けして示している。</li> <li>○ 教材文の終わりに、「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のマークを使い、生徒の思考を揺さぶる問いを示している。</li> <li>○ 教材文の終わりに、「もっと知りたい」の他に、第1学年は「交通安全に気をつけよう」等4つのマーク、第2学年は、「書いてみよう」等4つのマーク、第3学年は、「考えてみよう」等2つのマークを使い、教材と関連した特設ページを示している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(才) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨考えを伝え合う活動の工夫
<b>方法</b>	話し合いを促す示し方と具体例

		第1学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭で「話し合いの手引き」を示すとともに、「道徳の授業はこんな時間に」の中に、ショートストーリーを例に話し合いの具体的な流れを示している。</li> <li>○ 教材の中に、話し合いを促す発問を示している。</li> <li>○ 教材文の下に、考えたり思ったりしたことを記述する「つぶやき」の欄を設けている。</li> <li>○ 「探究の対話『p 4 c (ピーフォーシー)』」のページに、直前の教材に関する話し合いの具体的な流れを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合いの手引き」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・三～五人でグループを作ります。</li> </ul> </li> <li>○ 『『拓哉のなやみ』』を読んで、考えてみよう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループになって話し合いましょう。ほかのグループで出た意見も聞いてみましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 教材名「その人が本当に望んでいること」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・①で書いたことをもとに、三人のグループで話し合いましょう</li> </ul> </li> <li>○ 「つぶやき」</li> <li>○ 「対話の流れ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「思いやりの日々」(88～91ページ)を読み、各自が問いを立てましょう。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭「道徳科で学びを深めるために」の中に、話し合いの方法を示している。</li> <li>○ 教材の終わりの「学びの道しるべ」のコーナーに、話し合いを促す発問を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「考え、話し合う」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもと</li> <li>・友達と考えを出し合おう</li> <li>・友達の考えを自分にいかそう</li> </ul> </li> <li>○ 教材名「おはよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「形だけの挨拶をする」のと、「黙っていても相手を思っている」のと、どちらがよいと思うだろうか。理由も含めて話し合おう。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1教材「道徳の授業を始めよう！」の「どうやって学ぶの？」の中に、話し合いのポイントを示している。</li> <li>○ 「深めたいむ」のページに、話し合いを促す発問を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『『他者』』との対話                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「グループやクラスで意見を出し合ったり、議論したりすると、どんなことに気づくだろう。」</li> </ul> </li> <li>○ 教材名「魚の涙」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・このような場面に出会ったとき、Bさんの立場からは、悪ふざけをしている人たちに直接注意すること以外に、どんなことができるだろう。グループで話し合って、いろいろな方法を考えてみよう。</li> </ul> </li> </ul>	

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 巻頭「道徳科での学び方」の中に、学習の流れを示している。</p> <p>○ 教材文の終わりの「学習の進め方」のページに、教材における話し合いを促す発問を示すとともに、「学習を深めるヒント」の中に、ホワイトボードを使った話し合いの方法を示している。</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」の中に、友達の見解や話し合いの内容を記述する欄を設けている。</p>	<p>○ 「学習をより深めるための手立て」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなと話し合い、意見を交流して、自分の考えと比べ、多面的・多角的に考えよう。</li> </ul> <p>○ 教材名「自分だけ『余り』になってしまう…」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「余りの一人」を分かち合うとは、どういうことだろう。また、分かち合うときには何が大切だろう。グループで話し合おう。</li> </ul> <p>○ 「学習を深めるヒント」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードを使って話し合いを深めてみよう。</li> </ul> <p>○ 「友達の見解や話し合いをメモしよう。」</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 巻頭「新しい扉を開く」の中に、話し合う学習活動を提示し、「考えを深める四つのステップ」を示している。</p> <p>○ 教材文の終わりの「深めよう」のページに、「話し合おう」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。</p> <p>○ 教材文の下に、思いや気づきを記述する「メモ欄」を設けている。</p>	<p>○ 「話し合おう（話し合い、磨き合う）」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループで互いに深め合おう。</li> <li>・ボードやカードを利用してみよう。</li> <li>・クラス全体で話し合ってみよう。</li> </ul> <p>○ 教材名「公平とはなんだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公平について、レーム選手の参加を巡って考えたことを基に話し合おう。</li> </ul> <p>○ 「メモ欄」</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 巻頭「自分を見つめようー道徳の時間とはー」の中に、話し合いのポイントを示している。</p> <p>○ 教材文の終わりの「考える・話し合う」のコーナーに、「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。</p> <p>○ 別冊「中学生の道徳ノート」の中に、自分の考えを記述する「学習の記録」のページを設けている。</p>	<p>○ 「ともに考え、話し合う」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを他の人に分かりやすく伝え、他の人の考えをよく聞きましょう。そうすることで相互理解が深まるだけでなく、自分自身の見方や考え方を広げたり、深めたりすることができます。</li> </ul> <p>○ 教材名「ヨシト」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨシトの表面だけを見て、本当のヨシトを見ることなくのけものにする学級の雰囲気についてどう思うか。</li> <li>・アツシの腹の底に生まれた「何か熱い塊」とはなんだろう。</li> <li>・いじめをする人は卑怯であり、傍観者も卑怯である。このことをしっかりと認識したうえで、いじめのない愛のある学級にするためにどんなことが大切なのか、皆で話し合ってみよう。</li> </ul> <p>○ 「学習の記録」</p>
<p>日 科</p>	<p>○ 巻頭「道徳科って何を学ぶの？」の中に、話し合いのポイントを示している。</p> <p>○ 教材の終わりの「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問を示している。</p>	<p>○ 「道徳科って何を学ぶの？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科の授業は、物事を広い視野からとらえ、話し合うことを通して、人間としてのよりよい生き方についての考えを深める学習の時間です</li> <li>・みんなで作って、話し合う</li> </ul> <p>○ 教材名「パーソナリティー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身のよさは、どこにあるのか。それをどのように伸ばしていくことができるのか考え、話し合ってみよう。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑩考えをまとめたり，振り返ったりする活動の工夫
<b>方法</b>	考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方，まとめや振り返りの数等と具体例

		<b>第3学年</b>		
		<b>考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方</b>	<b>まとめや振り返りの数等</b>	<b>具体例</b>
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末に，心に残った教材や授業で学んでよかったこと，来学期の取り組み方や卒業後の心がけ等を記入する，振り返りのページを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分の学びをふり返ろう」 【3回分】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分の学びをふり返ろう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組みについてふり返ってみよう。</li> <li>・今学期（今期）に読んだ教材の中で，心に残ったものは何ですか。どのようなことが心に残っていますか。</li> <li>・今学期（今期）をふり返って，道徳科の授業で学んでよかったことはどのようなことですか。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>教出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末に，毎時間の学習を通してためになったこと，勉強になったこと等の感想を記入する欄を設けている。</li> <li>○ 巻末に，一年間の学びを踏まえて考えたことを記入する，保護者記入欄付きの振り返りのページを設けている。</li> <li>○ 巻末に，心に残った教材や自分が成長したと思うこと等を記入する，振り返りのページを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳の学びを記録しよう」 【教材ごと】</li> <li>○ 「これからを生きる皆さんへ」 【1回分】</li> <li>○ 「道徳の学びを振り返ろう」 【3回分】</li> <li>○ 「1年間の道徳の学びを振り返ろう」 【1回分】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳の学びを記録しよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業の記録」の欄には，その教材を学習した日や，「ためになった」「勉強になった」「心に残った」などの感想を記入しましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 「これからを生きる皆さんへ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな自分になりたいか，どんな生き方をしていきたいか，考えてみましょう。</li> <li>・家の人から</li> </ul> </li> <li>○ 「道徳の学びを振り返ろう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・今学期（今期）の道徳授業で「ためになった」「勉強になった」「心に残った」などと思う教材を三つ選び，記入しましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 「1年間の道徳の学びを振り返ろう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生になった時に思った「学びたかったこと」「がんばりたかったこと」は実行できましたか。1年間の振り返って書きましょう。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>光村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材「道徳の学びを振り返ろう」の終わりに，1年間の学びを振り返り，未来の自分に手紙を書く欄を設けている。</li> <li>○ 巻末に，自分の将来を想像し，人生目標を年表に書く欄を設けている。</li> <li>○ 巻末折り込みに，毎時間の学習を通して考えたことや感じたこと，シーズン終わりの学びの振り返り等を記録する折り込みを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「考えよう」 【1回分】</li> <li>○ 「人生目標年表を書こう」 【1回分】</li> <li>○ 「学びの記録」 【毎時間分】 【3シーズン分】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「1年間の学びを振り返り，未来の自分に手紙を書こう。」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「①道徳の授業を始めよう！」（6～9ページ）や「学びの記録」（巻末の折込）を見て，次の観点で，1年間の道徳の授業を振り返ろう。</li> </ul> </li> <li>○ 「人生目標年表を書こう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ，先のことはわからないかもしれないけれど，自分の将来を想像して，現時点の人生目標を，左の年表に書いてみよう。</li> </ul> </li> <li>○ 「学びの記録」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーズン1での道徳の学びを振り返って，印象に残ったことや感じたことは，どんなことだろう。どうして，そう感じたのだろう。</li> </ul> </li> </ul>	

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 別冊「道徳ノート」に、授業で学んだこと等について振り返る欄を設けている。</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」の巻末に、道徳の学習で印象に残ったこと等を記入する、保護者記入欄付きの振り返りのページを設けている。</p>	<p>○ 「自分への振り返り」【教材ごと】</p> <p>○ 「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」【3回分】</p>	<p>○ 「自分への振り返り ○印をつけよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習の内容は 印象に残った、残らなかった</li> <li>・友達の意見や話し合いから、新しい発見や気づきがあった、なかった</li> </ul> <p>○ 「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期末に、印象に残ったことや自分にプラスしたいことなどを書いてみよう。</li> </ul>
<p>学 研</p>	<p>○ 巻末に、1年間の自分の成長を振り返るページを設けている。</p> <p>○ 巻末に、未来の自分に手紙を書くページを設けている。</p> <p>○ 巻末に、授業での取組や心に残った授業、学んでよかったこと等を記録する、振り返りのページを設けている。</p>	<p>○ 「心の四季」【1回分】</p> <p>○ 「未来への扉」【1回分】</p> <p>○ 「学びの記録」【4回分】</p>	<p>○ 「心の四季」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な友達に贈りたい言葉</li> <li>・思いついたり見つけたりしたとおきの言葉</li> </ul> <p>○ 「未来への扉」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20歳の自分、就職した自分、大人になった自分… 未来の自分へ手紙を書こう。</li> </ul> <p>○ 「学びの記録」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今学期（今期）の道徳科の授業について、振り返ってみよう。</li> </ul>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業の記録や学習の記録を書く欄を設けている。</p> <p>○ 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、伸ばしていきたいことや今後の目標についての振り返りを書く欄とともに、教材ごとの学習の振り返りをチェックする折り込みページを設けている。</p>	<p>○ 「心に残っている授業の記録」【3回分】</p> <p>○ 「学習の記録」【36回分】</p> <p>○ 「心のしおり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分をのぼそう」【4回分】</li> <li>・「学習を振り返って」【教材ごと】</li> </ul>	<p>○ 「心に残っている授業の記録」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残っている理由</li> </ul> <p>○ 「学習の記録」</p> <p>○ 「自分をのぼそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①を振り返ってどうだったか</li> <li>・この1年の自分を振り返って</li> </ul> <p>○ 「学習を振り返って」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残った あまり とても</li> </ul>
<p>日 科</p>	<p>○ 巻末に、1年間の成長を振り返るページを設けている。</p> <p>○ 巻末に、3年間の道徳の授業について振り返るページを設けている。</p>	<p>○ 「3年生の心の成長を振り返りましょう」【内容項目ごと】</p> <p>○ 「私の道徳記録」【1回分】</p>	<p>○ 「3年生の心の成長を振り返りましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のレベルを判断してレベルのところに点に○をつけましょう。</li> </ul> <p>○ 「私の道徳記録」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の道徳の授業について振り返ってみましょう。</li> <li>・私の心を動かした3年間のできごと</li> </ul>